

# 飯山市下水道マンホールデザインの由来



## ① 戸狩処理区

戸狩観光協会のキャラクターである「みみずく」が描かれています。冬には戸狩温泉スキー場に多くのスキーヤーが訪れますが、近年は「信越トレイル」のアクセス拠点の一つとなっており一年を通じてアクティビティが盛んです。



## ② 戸狩処理区(外様)

飯山市外様地区の象徴である「黒岩山」とそこに生息する飯山市のチョウでもある「ギフチョウ」が描かれ、周りを雪の結晶とスキーヤーで囲んでいます。当地区では冬になると「かまぐらの里」として多くのかまぐらが造られ、雪深い飯山の風物詩となっています。



## ③ 斑尾処理区

斑尾高原の野山を飛び回る「ウサギ」と、沼ノ原湿原の「ミズバショウ」をイメージしたデザインです。斑尾高原はスキーのメッカですが、高原内にはのカラマツやブナ林に囲まれた総延長 50km に及ぶトレッキングトレイルが整備され、一年を通じて自然を満喫できます。



## ④ 農業集落排水

小規模下水道施設である「農業集落排水」では共通の幾何学的模様の鉄蓋を採用しています。ただし昭和の時代に設置した一部の鉄蓋は違ったデザインのものがあります。探してみてください。



## ⑤ 木島処理区

飯山市中央部を流れる千曲川に架かる「中央橋」と飯山市の花「ユキツバキ」がデザインされています。デザインされている赤い橋は平成 26 年に新しい中央橋(エキストラードーズド橋)に架け替えられ、現在はマンホール蓋でしか旧橋の姿はお目にかかれません。



## ⑥ 飯山処理区

長野県におけるスキー発祥の地飯山をイメージした「童たちの一本杖スキー」です。飯山市には 1912 年にスキーが伝来しました。そのときのスキー術が一本杖スキーです。一本杖スキーは大正初期の頃まで行われ、その後スキー技術は急速に進歩し全国に広まりました。